

小学校 算数 言語活動の充実 指導のポイント

教科目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

思考力、判断力、表現力等を育成する観点から、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解するとともに、それらを適切に用いて、問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し合ったりする学習活動などを充実する。

児童の考えを基にして話し合い、考えを深める事例

- 1 学年 第5 学年
- 2 単元名 小数のわり算
- 3 単元の目標
除数が小数の場合の除法の意味や計算の仕方について理解する。

4 言語活動の充実の視点

- 視点1： 課題解決に向けて、見通しを持ちながら、言葉や数、式、図などを用いて、分かりやすくノートにかく。(数学的な考え方)
- 視点2： 友達の考えを基に、関連性や有用性などの観点で話し合うことで、互いに学び合い、より良い考えを作る。(数学的な考え方)

5 主な学習活動(全13時間、本時2/13)

段階	学習活動
導入	1 本時の課題を知る。 300÷2.5 の計算のしかたを考えましょう。
	2 見通しを持つ。 視点1
展開	3 自力解決に取り組む。 ① わり算の性質から、どちらも10倍して考える。 3000÷25=120 答え 120円
	② わり算の性質から、どちらも2倍して考える。 600÷5=120 答え 120円
	③ 0.1を基にして考える。 300÷25=12 12×10=120 答え 120円
	4 集団解決に取り組む。 ・ 代表児童が考えを説明する。(②⇒①⇒③の順) ・ 考えの共通点や良さについて話し合う。 視点2
終末	5 整数÷小数の計算の仕方をまとめる。 整数÷小数はわる数を整数に直して計算する。
	6 適用問題に取り組む。
	7 学習感想を書く。

算数的活動の充実

- 算数科の目標にあるとおり、算数科では「算数的活動を通して」目標を実現することを目指しています。言語活動についても同様で、算数的活動の中に「表す活動」「説明する活動」などと例示されています。算数的活動の趣旨を理解し、言語活動の充実を図ることが重要になります。

考えを基に 学び合う活動の充実

- 言語活動を充実させるポイントは児童が発表して終わりにしないことです。出された考えを基に、関連性や有用性などの観点で話し合い、考えを深めることができるようにしましょう。

評価の観点

- 「数学的な考え方」の観点は、「児童が見通しを持ち、筋道を立てて考え表現したり、このことを基に考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けているか」ということです。言語活動を中心とした表現に関わる活動等を通じて評価しましょう。